



3年生が学年閉鎖！

週明けの月曜日の朝、職員室の電話は鳴りっぱなしでした。「インフルエンザと診断されました」「インフルエンザは出ませんでしたが、インフルエンザの薬をもらいました」「熱が出たので病院に行きます」等等。3年生で11名が欠席しました。校医さんとも相談し、この日の昼食後から31日(水)まで3年生を学年閉鎖とさせていただきました。2月1日(木)から、3年生の登校は再開されましたが、まだ、欠席者はいます。1・2年生にも欠席者がいます。また、土佐南中の場合、ほとんどがB型との診断でしたので、A型への注意も必要かと思われます。前号にも掲載しました「インフルエンザにかからないために」を実行してください。

6日(火)は本年度最後のしおかぜ公園清掃ボランティア

6月の生徒総会で、しおかぜ公園清掃ボランティアを1学期に1回から1ヶ月に1回にしようと決まり、回数を増やしていますが、短い3学期は、この日1回だけです。本年度最後の清掃ボランティアとなります。3年生は中学校最後のボランティアです。保護者の皆さまの中でも参加可能な方は、ぜひ参加していただき、生徒たちといっしょに掃除をしましょう。7時半からです。よろしくお願いします。

北海道・江別市との交流から帰って来ました

既報のように、北海道江別市との交流が、1月17日(水)から3泊4日の日程で実施され、本校から生徒会長明神■■■さん(2年生)が参加しました。2日(金)の集会で全校生徒に帰校報告がありました。写真で交流の様子をふり返ります。



野幌小学校で。ここでは雪中体験をしました



↑セラミックアートセンター
江別はレンガの街です



部活動の記録

■バスケットボール高吾地区1年生大会	1月27日(土)・28日(日)
【女子】準決勝	土佐南・戸波8ー104伊野・久礼
	※第3位
【男子】1回戦	高岡・土佐南57ー19須崎
準決勝	高岡・土佐南63ー18葉山
決勝	高岡・土佐南33ー72伊野南
	※準優勝

各種表彰

- こども小砂丘賞 優秀 明神 ■■
- 高知県「南海トラフ地震に備えよう！」啓発ポスター・標語コンクール
ポスター部門 優秀賞 北川 ■■
- JA 共済小中学生書道・交通安全ポスターコンクール高知県大会
ポスターの部 銅賞 田井 ■■
佳作 川田 ■■・濱崎 ■■・村松 ■■
- ざぶん大賞 「ざぶん大使」 明神 ■■

当面の日程

2月 4日(日)	高知県児童生徒表彰式
2月 5日(月)	3年実力テスト スクールカウンセラー相談日
2月 6日(火)	しおかぜ公園清掃ボランティア 学校給食連絡協議会
2月 7日(水)	公立A日程出願開始(9日まで)
2月 8日(木)	学校評価委員会
2月 9日(金)	市PTA会長・事務局会

キリトリ

土佐南だより No.43 返信 () 年 生徒名前 ()

「土佐南だより」へのご意見や感想をお寄せいただきますようお願いいたします。なお、いただきました「返信」は、匿名で、次号以降の「土佐南だより」に掲載させていただくことがあります。掲載を希望されない場合は、その旨、お書き添えください。

※ご家庭に届いたことを確認させていただくため、「見ました」だけでもけっこうですので、ご協力をお願いいたします。

“社会を明るくする運動”作文コンテスト最優秀賞作品

土佐南だより No.36 でお知らせしましたように、高知県“社会を明るくする運動”作文コンテストで、明神■■さんの『地域との繋がり』が、応募作品中学生の部648点の作品の中から「最優秀賞」（高知県で1名）に選ばれました。ここでは、受賞作品『地域との繋がり』をご紹介します。

『地域との繋がり』

私の住んでいる新居は、地域の方々との関わりが深い地区だ。通っていた新居小学校にも、地域の方々がボランティアで、学校行事の手伝いや、学校・地域の環境整備など、いろいろな活動をしてくれる「風援隊」という組織があった。その中に、「風の子安全パトロール」という登下校を見守る活動があり、入学当初から、私と一緒に登校してくれていた、横田さんという方がいた。

横田さんは、元郵便局長で、「風援隊」のリーダーだった。毎朝一緒に登校する中で、横田さんは様々な話をしてくれ、そこから沢山のことを学んだ。

「新居で一番高い山は黒岩山。新居で一番低い山は、ハゲ山！」
そう言って、横田さんはかぶっていた帽子を脱ぎ、ニカッと笑った。そして、その後、急に真剣な顔になり、

「もし新居に津波が来たら、僕のハゲ山にじゃなくて、黒岩山に逃げないかんて。」

と言い、またいつもの笑顔に戻った。こんな風に、時々面白い冗談を言いながら大切なことを教えてくれるので、毎日の登校が楽しみだった。

「道で地域の誰かに会った時は、元気に挨拶しよったら、不審者に会った時に助けてくれるき、挨拶しよったらえいで。」

と言って、地域の方々と会う度に頭を下げて挨拶の手本を示してくれていた。そのおかげで、誰かに会った時に自分から挨拶するのが当たり前になっている。

小学三年生になった時、校長先生から、横田さんの体調が悪いため、しばらくは一緒に登校できないことを聞いた。私は、(いつも元気やった横田さんが病気なんて、大丈夫だろうか?)と心配だった。横田さんと登校できなくなってから、自分たちにとって横田さんがどれだけ大きな存在だったのか、ようやく分かった。四年生になって、横田さんが手術をすることになった、と全校集会で聞いた。そして、いつも新居小学校のために活動してくれている横田さんに早く元気になってもらおうと、全校生徒で鶴を折ることになった。早く治って、一緒に登校出来るようにと願いを込めて鶴を折った。横田さんの手術は成功し、少しずつ元気になっていると聞き、また一緒に登校できるのを楽しみにしていた。しかし、その願いは叶わなかった。



私たちは、自分でも気付かない内に、様々な人に支えられながら生活している。横田さんが亡くなって、毎日笑いながら登校していたことが懐かしく思い出され、そんな毎日がどれだけ大切な存在だったのか、改めて気付かされた。日々の生活を振り返ると、家族や友達にも支えられていると思う。でも、その有り難さに気付けていないことの方が多い。横田さんに出会い、様々なことを教わったことが、私が日々を生きる基本となっている。

私は、中学校では生徒会執行部に所属している。その活動の中に、「あいさつ運動」という取り組みがある。「あいさつ運動」とは、土佐市の取り組みとして毎月第三木曜日に行っているもので、土佐南中では通学路に赴き、挨拶をする、という形をとっている。挨拶は、する側もされた側も、自然と笑顔になる。地域の方々に挨拶をすると、挨拶を返してくれるだけでなく、

「今日も頑張っちゅうねえ。」

「あいさつ運動かね?お疲れ様。」

と、声をかけてくれ、温かい気持ちになる。初めの内はただ挨拶をするだけだったけど、挨拶をすることでお互いに笑顔になれることや、そこから会話に発展していくことなどを知り、挨拶をする本当の意味が分かるようになった。

私たちにとっての「社会」である学校をよりよくしたい、と活動していく中でも、いろいろな失敗があり、その度に学ぶことがある。落ち込んだり、悩んだりした時に浮かんでくるのは、横田さんのあの笑顔と、毎朝のかけ声だ。横田さんは、私が挨拶をすると必ず、

「■■ちゃん、おはよう!さあ、歩き方に気を付けて、ワンツーワンツー。」

と、元気よく返してくれた。中学校生活も二年目を迎え、頻繁に変化する「社会」の中で自分の成長を感じられるようになった。小学生の頃のように、歩いて登校することもなくなった今だからこそう思う。横田さんの言う歩き方とは、ただの歩き方ではなく、「人生の歩き方」なのではないだろうか。人生は一度きり。一步踏み外せば、私の理想とする未来を手にすることができなくなるかもしれない。私は、この先一步一步を慎重に歩んでいきたいと思う。そして、横田さんが遺してくれた地域との繋がりを絶やさないよう、その思いを受け継いで大切に守っていきたい。

「さあ、歩き方に気を付けて。ワンツーワンツー。」

横田さん、私は今日も歩きます。